



総務省

Ministry of Internal Affairs
and Communications

地域人材ネット

暮らしの場の小径、歴史ある道、旧道・古道・古街道、遺跡、
伝承、ストーリーを活かした歴史シアター式・観光広域連携の
まちづくり

宮田 太郎 (みやた たろう)

(株)歴史シアター・ジャパン 代表取締役



○ 登録者情報

所在地

神奈川県相模原市

略歴

(株)歴史シアター・ジャパン(代表取締役)

歴史古道研究家(古街道研究家)

歴史古道まちづくりプランナー

歴史フットパス・プランナー(日本フットパス協会・理事)

歴史古街道団(代表)

TOKYO多摩地域「歴史古道で結ぶ」観光広域連携プロジェクト連絡会・代表(2019～)

○

駒ヶ根フットパス

講演

●各地の隠れた歴史遺産(古道、人物、地域物語、遺跡・史跡、歴史環境・景観、歴史ロマン)などを地域の方々と共に見出し、地域資源化し観光に結びつけるためのアドバイスを行う。『歴史フットパス』『里山フットパス』事業化のプランニングとプロデュース。歴史観光ガイド養成講座実施。歴史 & 文化のコンテンツ・マーケティング。

●国内外に向けての「日本の歴史 & 文化の魅力の発信」のお手伝い。各地の『ニッポンの小径・歴史ある道 そぞろ歩き』『日本のカントリーロード』ほか、古代史ロマンツリズム、海の道・陸の道に関わる交易の物語などをテーマにしたツーリズムのプランニング & 制作。伝統文化をテーマにしたイベントや“集いの場”をプロデュース。

●1959年東京都生まれ。1984年頃より多摩丘陵(東京都、神奈川県)の古道研究を開始。眠っていた古代の官道や地方街道、中世の鎌倉古道や未知の城跡などの遺跡を各地で確認。以来、「道」の奥深い魅力と価値を探る研究会を複数主宰。各地に眠る地域の歴史遺産とツーリズムを合体させたテーマ・ツアーやウォーキングを数多く実践。2000年頃から活動範囲を全国や近隣外国にも拡大。地域活性や観光に大いに役立つ「道」の力、地方間コミュニティや広域リンクを可能にする「フットパス」普及のためのプランニング & アドバイザー。

●自治体や研究団体、旅行社、カルチャーセンターなどが主催の講座の歴史講師として、地域に眠る古街道と遺跡、魅力ある歴史ロマン、地域活性に役立つ道の力と活用方法を紹介。

●日本人のDNAルーツ、近隣海外との交流の歴史など、インバウンド時代にこそ活用できるテーマをツーリズムとして国内外でプランニング & 実施。

●“感性で歩き・感動する”ツアー・スタイル(歴史シアター式ツーリズム)を開発し実践中。歴史 & 文化イベントのプロデュース、TV番組へのコンテンツ提供や制作、観光・地域活性の為の資源を「歴史」と「道」から創り上げる、歴史の総合プロデューサー。NHKテレビ趣味の番組、NHKラジオ深夜便(レギュラー出演5年目。現在進行中)

著書・論文等

「新視点・日本の歴史(中世編。新人物往来社。共著。1993年)」、「金森・高ヶ坂地区遺跡報告書(1998年)」、「鎌倉街道伝説(株ネット武蔵野2001年)」、「街道で読み解く日本史(監修。青春出版2002年)」、「鎌倉古道を探索しよう(町田市観光コンベンション協会2015年)」、「研究会資料・多摩丘陵古街道探索会資料(1987～1995年)24冊」、「研究会誌・歴史街道と遺跡の旅(1998～2006年)20冊」、「多摩歴史街道遺跡研究会報(1995～1996年)8冊」、「歴史ロマン古道ニュース(2004～2020年)41冊」ほか地域史研究会会報、雑誌などの研究論文多数。

○暮らしの場の小径、歴史ある道、旧道・古道・古街道、遺跡、伝承、ストーリーを活かした歴史シアター式・観光広域連携のまちづくり

取組の内容

●各地の隠れた歴史遺産(古道、人物、地域物語、遺跡・史跡、歴史環境・景観、歴史ロマン)などを地域の方々と共に見出し、地域資源化し観光に結びつけるためのアドバイスを行う。『歴史フットパス』『里山フットパス』事業化のプランニングとプロデュース。歴史観光ガイド養成講座実施。歴史 & 文化のコンテンツ・マーケティング。

●国内外に向けての「日本の歴史 & 文化の魅力の発信」のお手伝い。各地の『ニッポンの小径・歴史ある道 そぞろ歩き』『日本のカントリーロード』ほか、古代史ロマンツリズム、海の道・陸の道に関わる交易の物語などをテーマにしたツーリズムのプランニング & 制作。伝統文化をテーマにしたイベントや“集いの場”をプロデュース。



駒ヶ根フットパス



講演



身近な歴史発見のツアー



万葉時代再現「防人の道」祭り

実績

- 東京都と神奈川県にまたがる「多摩丘陵」の歴史古道が、東西日本列島を縦貫する貴重な交通路であることや、良好な歴史環境がそのまま遺されていることを1984年頃から紹介。その成果を基に歴史監修した「歴史と自然の遊歩道・多摩よこやまの道」が、「日本の歩きたい道500選（東京では10選）」に選定。2015年には「新日本歩く道紀行“歴史の道”100選」に選定された（多摩市）。2019年1月から、TOKYO多摩地域「歴史古道で結ぶ」観光広域携の取り組みを開始。合わせて古街道痕跡や中世城郭などの保全活動や公式発掘調査実現、開発計画の再構築、観光資源化などで貢献。
- 歴史再現「万葉時代“防人（さきもり）祭り”」を7年間（2004年から年1回）総合プロデュース。文化複合施設パルテノン多摩の周年祭典での野外パレードと音楽劇プロデュース。東京・国分寺市での歴史物語を脚本・演出・出演（解説）。八王子市「伝承たまたま箱」イベントにて歴史シアター式映像&解説。
- 信州駒ヶ根市にて、歴史フットパス構築のアドバイスを継続（広域連携を目指す）。2015年10月全国初の「歴史古道フットパス・ジャンボリー」開催（実行委員会形式）。以降、継続中。

工夫した点や苦勞した点

- 地域の歴史に詳しい研究者や愛好家が高齢化しつつあり、年々各地の伝承や地域の記憶、郷土研究などの情報が得にくくなってきた。だからこそ、その資源発掘に力を注いでいる（価値資源発掘）。
- 歴史遺産や文化財を地域振興や観光に結びつける上で、幅広く理解を得ることの困難や、指定や保存に多くの手間や時間がかかる。新旧住民や商工関係者、自治体関係者に、まず地域を歩くことから始める機会を創るよう勤めている。
- 地域振興化に取り組む上での「外部者来訪の増加」と「受け入れ態勢づくり」実現のために、①魅力ある歴史文化テーマの発掘 ②ツーリズムの創造 ③地域の人、自らが楽しいと思って参加できる動機づくり力を入れている。

ひとことPR

人の営みがあったところであれば、どんな市街地から離れた集落であっても「歴史ある道」や「輝く歴史の記憶」や「先人たちから学ぶ知恵」はまだ存在しています。そうした隠れた資源を大いに活かす地域振興が、いま各地に必要なではないでしょうか。これらをツーリズムに変えていくための資源の発掘、テーマやコンテンツ・マーケティング、外部来訪者とも大いに交流するための総合プロデュースを実践しています。

令和2年5月からは総合的に若い世代が土日曜日を使って、各地の里山や暮らしの道を草刈り、案内板設置の手伝い、などの保全事業に参加していく広域連携コミュニティを、また軽くジョギングしながら里山を巡るジョギロス・カントリー（ゆったりクロスカントリー。＊新規考案）の実施、フットパスなど地域の方々と交流し、地域貢献していく喜びを分かち合う事業が始まります。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています（複数の分野に該当するものもあります）。

○	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化	○	8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進	○	10	環境保全
○	5	定住促進	○	11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

歴史古街道研究家 宮田太郎 HP	http://miyatataro.com/
歴史古街道団 HP	http://rekkodan.com/
(株)歴史シアター・ジャパン	http://www.rekishi.jp.com

連絡先

メールアドレス	kokaido [アットマーク] r3.dion.ne.jp	その他	
---------	--------------------------------	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。